



▲サザエの壺焼きを味わう井手梨媛さん(左)と彩都さん

3年ぶりの「さざえまつり」開催 おいしいサザエに笑顔がはじける

津屋崎漁港とまちおこしセンター津屋崎千軒なごみで、7月30日と7月31日に「さざえまつり」が開催されました。朝早くからたくさんの人でにぎわい、キッチンカーやマルシェなどたくさんの店がある中でも、特に生サザエやサザエの壺^{つぼ}焼きを販売する場所では、長い行列ができていました。

インターネットで「さざえまつり」の情報を見て福岡市からやって来た井手さんご家族はサザエの壺^{つぼ}焼きを購入。彩都さんと梨媛さんは、サザエを口いっぱい頬張りながら「おいしい」と話してくれました。



▲オリジナル曲などを披露したカメラ吹奏楽団福津

カメラステージ開設5周年記念夏祭り 夏の楽しい思い出に

カメラステージ開設5周年を記念した夏祭りが、8月11日にカメラホールで開催されました。

午前と午後の部に分かれ、子ども向け映画の上映会や演奏会、ラジオを作る工作教室やカラーサンドアートづくりなどたくさんの催し物がありました。

午後の部で演奏を披露したカメラ吹奏楽団福津の団長は「コロナ禍の中、たくさんの人の前で演奏できることがうれしい」と話していました。たくさんの人が息の合った演奏に聴き入っていました。

第26回 宗像地区消防操法大会 市の代表が操法技術を競い合う

福津市、宗像市それぞれの代表の消防団が操法技術を競う宗像地区消防操法大会が、宗像市のふれあいの森総合公園で7月24日に行われました。

福津市は第6、7、11分団、宗像市は第3、10、11、15・16分団が出場し、9月4日に福岡県消防学校で行われた県大会への切符をかけて競いました。

福津市消防団は第6分団が2位、第7分団が3位となり、惜しくも県大会出場を逃しましたが、優勝した宗像市第10分団とともに、日頃の訓練の成果を十分に発揮しました。宗像市第10分団は、県大会でも見事な操法を披露してくれました。



▲福津市消防団第7分団の迫力がある操法披露

グアムの中学生柔道家との交流 熱の入った稽古と笑顔の交流

福岡市で行われる金鷲旗高校柔道大会を視察するため、アメリカ合衆国のグアムから中学生柔道家3人が来日しました。

東京2020オリンピック・パラリンピックのときに、ルーマニア柔道代表チームを支援した実績から福津市が稽古場所に選ばれ、7月25日、7月26日の2日間、津屋崎中学校柔道部と福津少年柔道「福武館」が一緒に稽古をしました。

稽古の休憩時間には、身振り手振りや簡単な英語を使いながら笑顔でコミュニケーションをとるなど、お互いに充実した時間を過ごしていました。



▲グアムの中学生柔道家の力強さに驚いていました

日本郵便株式会社と包括連携協定を締結 共に市の課題の解決を目指す

地域の課題解決や住民サービスの向上について共働して推進するため、7月25日、日本郵便株式会社と包括連携協定を締結しました。

宮司郵便局の諫山伸気局長は「協定を結ぶのがゴールではなく、これが始まり」と今後の意気込みを話していました。



▲「未来を担う子どもの育成に関すること」などに取り組みます

市内の中学生硬式野球チームが表敬訪問 さらなる飛躍を誓う

福岡福津ボーイズが「2022ホークスカップ中学硬式野球大会」への出場を決め、原崎市長と大嶋教育長を7月28日に表敬訪問しました。

勝ち上がれば福岡 PayPayドームで戦う事ができるため、チーム代表の青佐康広さんは「ドームで戦えるように頑張りたい」と抱負を述べていました。



▲今後もさらなる活躍を誓ってくれました

後藤 青葉ちゃん 福

立花 環ちゃん 福

相野 志弥ちゃん 福

原口 芽亜ちゃん 福

元木 快ちゃん 南

下野 湊友ちゃん 福

赤羽 恵菜ちゃん 福

中村 まりちゃん 南

小林 奈央ちゃん 南

発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センターなかよしに持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限りません。データの持ち込みは受け付けられません。

毎号先着24人で、12月生まれの赤ちゃんは10月20日(木)が受付期限です。

受付、問い合わせ 市子育て支援センターなかよし(ふくとぴあ) ☎35・8382

休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

▶写真申込フォーム